

みずほエマージング株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のエマージング諸国の株式（DR（預託証券）を含みます。）への実質的な投資により、信託財産の中・長期的な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年4月16日～2025年4月15日

第20期	決算日：2025年4月15日	
第20期末 (2025年4月15日)	基準価額	14,051円
	純資産総額	1,507百万円
第20期	騰落率	△7.0%
	分配金合計	100円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

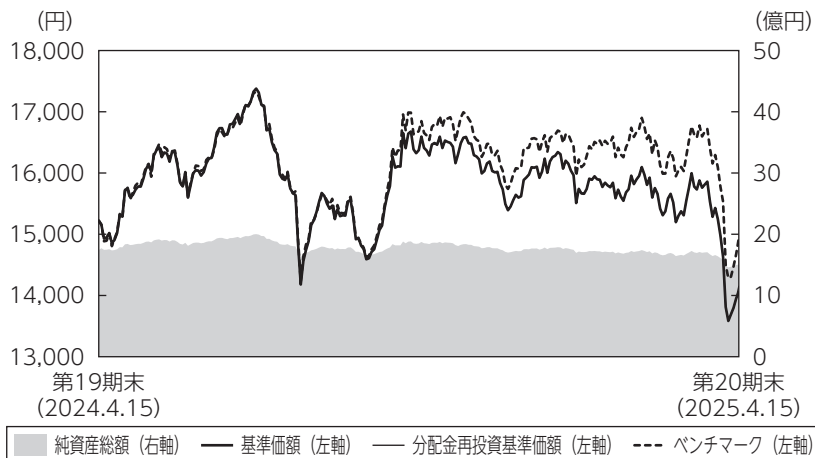
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第20期首： 15,222円
 第20期末： 14,051円
 (既払分配金100円)
 騰落率： △7.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)) は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の＜当ファンドのベンチマークについて＞をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

エマージング株式マザーファンドを通じて新興国の株式に投資を行いました。米国の利下げと米国経済に対するソフトランディング見通し、中国の大規模な金融緩和や景気刺激策などを背景に新興国の株式市場が上昇したことはプラスに影響しましたが、為替市場で円高が進行したこと、ポートフォリオ運用における銘柄選択などを背景に、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第20期		項目の概要
	(2024年4月16日 ～2025年4月15日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	331円	2.091%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は15,843円です。
(投信会社)	(221)	(1.392)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(93)	(0.589)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(17)	(0.110)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	36	0.230	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(36)	(0.226)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(1)	(0.004)	
(c) 有価証券取引税	22	0.136	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(21)	(0.133)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	217	1.367	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(216)	(1.364)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	606	3.824	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

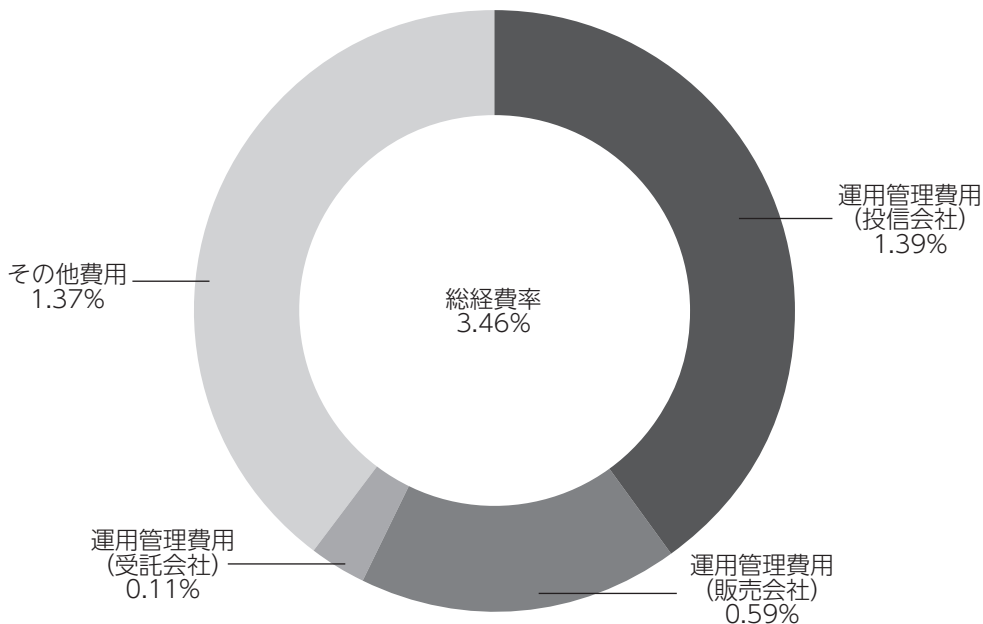
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.46%です。



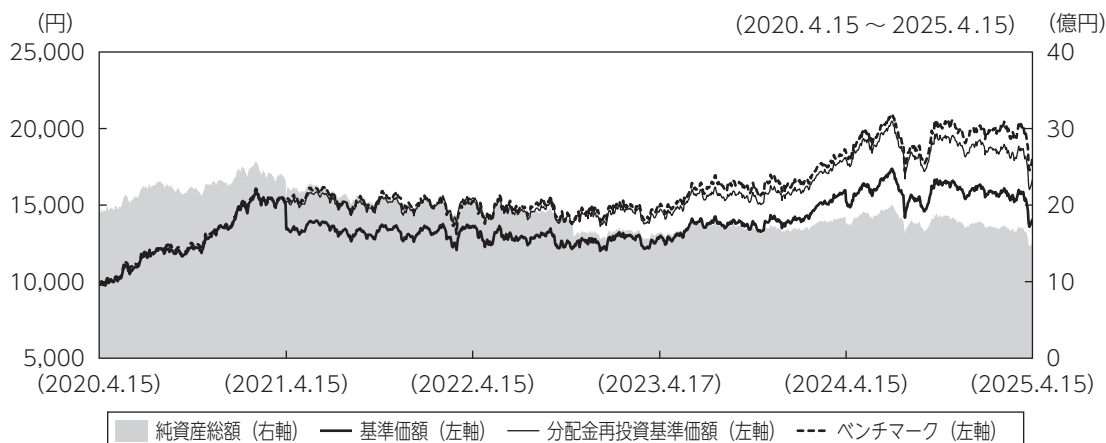
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

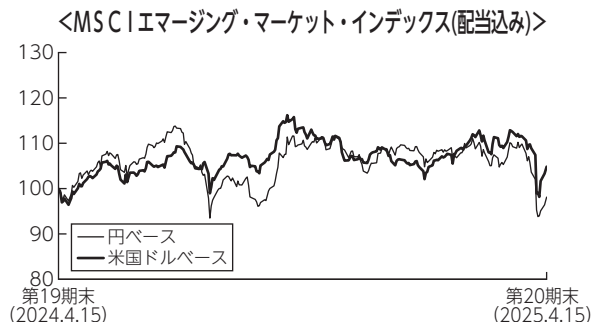


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)) は、2020年4月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年4月15日 期首	2021年4月15日 決算日	2022年4月15日 決算日	2023年4月17日 決算日	2024年4月15日 決算日	2025年4月15日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	9,883	13,423	13,646	12,954	15,222	14,051
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,800	0	0	600	100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	54.0	1.7	△5.1	22.1	△7.0
ベンチマークの騰落率 (%)	—	55.2	△0.5	△1.9	23.0	△1.9
純資産総額 (百万円)	1,919	2,072	2,054	1,644	1,742	1,507

(注) ベンチマークは、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米国ドルベース) をもとに、当社が独自に円換算しています。なお、指数算出にあたっては基準価額への反映を考慮して前営業日の米ドルベースの値を当日の対顧客電信相場仲値で円換算しています (以下同じ)。

投資環境



(注) 期首の値を100として指数化しています。

為替市場では、期初から米国の利下げ先送り観測などから円安米ドル高に動きました。2024年9月中旬にかけて、米国の景気後退懸念や利下げ期待、日銀の追加利上げ観測などを受けて、円高米ドル安に転じました。その後、堅調な米小売売上高などを受けて再び円安米ドル高が進みましたが、2025年1月以降は、日銀の利上げや米政権の関税政策による景気後退懸念などから、円高米ドル安が進みました。新興国通貨は概ね対ドルで弱含みました。

ポートフォリオについて

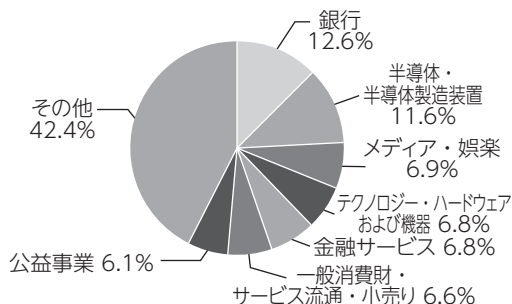
●当ファンド

当ファンドの主要投資対象はエマージング株式マザーファンドであり、マザーファンドの組入比率は期を通じて高位に維持するよう運用しました。

●エマージング株式マザーファンド

個別銘柄の株価変動や売買の結果、国別配分では中国や南アフリカなどの組入比率が上昇した一方、韓国やメキシコなどの組入比率が低下しました。業種配分では公益事業などの組入比率が上昇した一方、テクノロジー・ハードウェアおよび機器などの組入比率が低下しました。株式の組入比率は高位を維持しました。組入外貨建資産に対して為替ヘッジは行いませんでした。

〔業種別配分〕



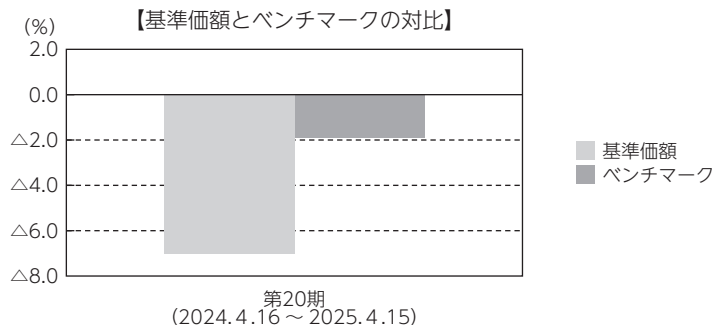
(注1) 比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注3) 現金等はその他として表示しています。

ベンチマークとの差異について

エマージング株式マザーファンドを通じて新興国の株式に投資を行った結果、基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率はベンチマークを下回りました。国別では中国や韓国などの銘柄選択が、業種別ではテクノロジー・ハードウェアおよび機器や金融サービスの銘柄選択などがマイナスに影響しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年4月16日 ～2025年4月15日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.71%
当期の収益	100円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	5,634円

- （注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- （注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- （注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

当ファンドの運用方針については、引き続きエマージング株式マザーファンドを組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。今後もマザーファンドの組入比率を高位に維持する方針です。

●エマージング株式マザーファンド

持続可能な利益成長や配当支払いによる株主還元の見点から投資妙味が高いと判断される優良銘柄に厳選して投資する方針です。国別では中国やブラジルなどの、業種別では金融サービスや公益事業などの銘柄に注目する方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「エマージング株式マザーファンド」において、ベンチマークの表記をMSCIEマージング・マーケット・インデックス（円ベース）からMSCIEマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に変更しました。なお、表記の変更のみで使用している指数に変更はありません。

(2025年1月16日)

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「エマージング株式マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

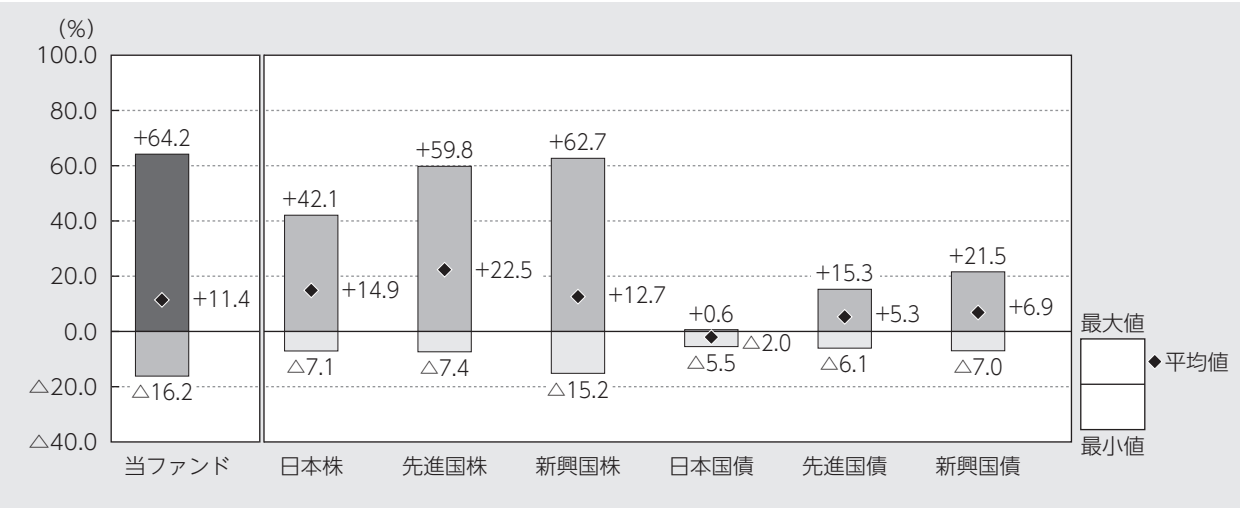
(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／株式		
信 託 期 間	2005年8月26日から無期限です。		
運 用 方 針	世界のエマージング諸国の株式（D R（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。		
主要投資対象	みずほエマージング株 式 オ ー プ ン	エマージング株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。	
	エマージング株式マザーファンド	世界のエマージング諸国の株式を主要投資対象とします。	
運 用 方 法	株式の組入れは原則高位とし、先進国と比較して、相対的に高い経済成長が期待される世界のエマージング諸国の株式に分散投資を行います。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 エマージング株式マザーファンドにおける運用指図に関する権限をオールスプリング・グローバル・インベストメンツ・エルエルシーに委託します。		
分 配 方 針	毎年原則として4月15日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の中から委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。		

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年4月～2025年3月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年4月15日現在）

◆組入ファンド等

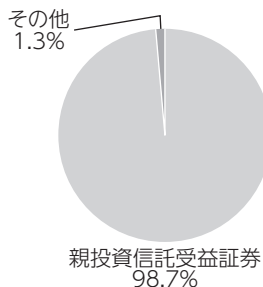
（組入ファンド数：1 ファンド）

	当期末
	2025年4月15日
エマージング株式マザーファンド	98.7%
その他	1.3

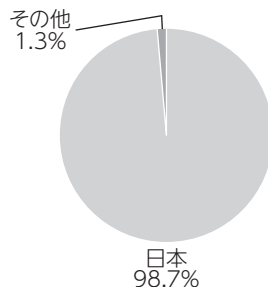
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

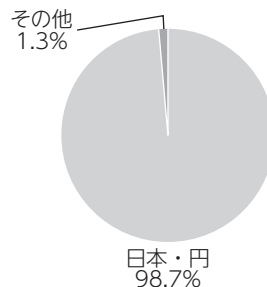
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

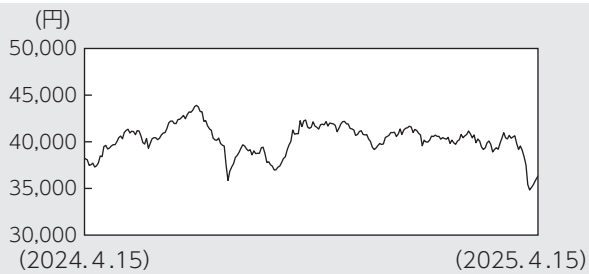
項目	当期末
	2025年4月15日
純資産総額	1,507,233,930円
受益権総口数	1,072,664,674口
1万口当たり基準価額	14,051円

（注）当期中における追加設定元本額は40,225,874円、同解約元本額は111,946,681円です。

組入ファンドの概要

[エマージング株式マザーファンド] (計算期間 2024年4月16日～2025年4月15日)

◆基準価額の推移



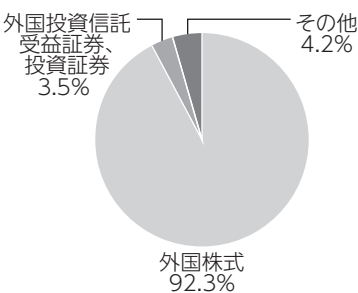
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	7.2%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.8
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	4.5
MEDIATEK INC	台湾・ドル	2.7
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	2.5
NHPC LTD	インド・ルピー	2.1
EMBASSY OFFICE PARKS REIT	インド・ルピー	1.7
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.6
POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド・ルピー	1.5
SHRIRAM FINANCE LTD	インド・ルピー	1.5
組入銘柄数	102銘柄	

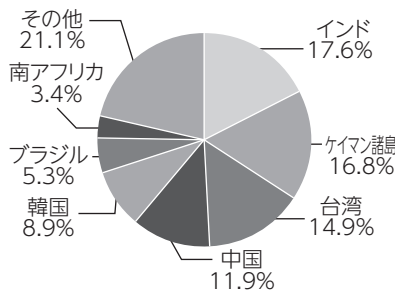
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	93円 (91) (0) (2)	0.231% (0.227) (0.000) (0.004)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	55 (54) (0) (1)	0.136 (0.134) (0.000) (0.002)
(c) その他費用 (その他)	549 (549)	1.364 (1.364)
合計	697	1.732
期中の平均基準価額は40,216円です。		

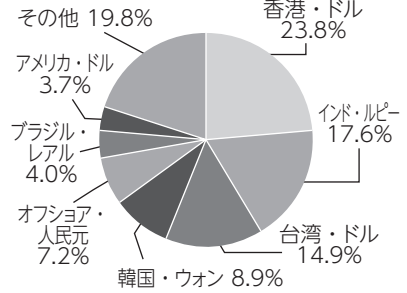
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

＜当ファンドのベンチマークについて＞

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。なおMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、エマージング諸国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米国ドルベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広く網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

